

1. 件名：第二種廃棄物埋設事業許可申請に係る新規制基準への適合確認に関する日本原子力発電株式会社とのヒアリング（43）

2. 日時：令和2年9月8日（火）11時00分～11時20分

3. 場所：原子力規制庁 10階北会議室（音声通話により実施）

4. 出席者：

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 核燃料施設審査部門

志間企画調整官、金岡上席安全審査官、菅生主任安全審査官、大塚安全審査専門職、鈴木安全審査専門職、古田安全審査専門職、松田安全審査専門職

日本原子力発電株式会社

廃止措置プロジェクト推進室 部長

他8名

5. 要旨：

日本原子力発電株式会社（以下、「原電」という。）と、第二種廃棄物埋設事業許可申請に係る新規制基準への適合性確認について、以下のとおりヒアリングを実施した。

（1）原子力規制庁から、9月7日に開催した第371回核燃料施設等の新規制基準適合性に係る審査会合において行った廃止措置開始後の線量評価におけるパラメータ設定の考え方に関する指摘について、以下のとおり補足説明を実施した。

➤ 「可能性が高い自然事象シナリオ」でのパラメータ設定において平均値を取っている項目については、その項目の特性や状態を踏まえた上で、どのように設定をすることが可能性が高いシナリオにおける適切な設定なのかを整理し、平均値を取ることの妥当性を説明すること。  
また、具体のパラメータ設定の説明の際には、測定点数や統計処理の妥当性も含めて説明すること。

（2）原電から、整理の上、今後説明する旨の回答があった。

（3）原子力規制庁から、今後のスケジュールについて確認し、原電より、水理を本年10月、廃棄物埋設地に関する設計方針と概要を令和3年1月、廃棄物埋設地に関する設計内容を令和3年4月以降に説明する計画であると回答があった。

6. その他：

配付資料なし

以上